

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)3月26日
所属名:東近江農産普及課東部
番号:D24030
発信者名:岡田、藤川、平田、園田

愛東ぶどう生産出荷組合を対象に「BK シードレス」研修会を開催！

3月6日、愛東ぶどう生産出荷組合を対象に、「BK シードレス」研修会を開催しました。組合員18名が出席され、「BK シードレス」の栽培管理のポイントと、農山漁村発イノベーション中央プランナーを交えたブランド化についての研修を実施しました。

愛東ぶどう生産出荷組合では、栽培面積の約半分を占める主要品種である「マスカット・ベリーA」から「BK シードレス」への改植が進んでおり、今後、「BK シードレス」のさらなる栽培面積・生産量の増加が見込まれます。しかし、当該品種は生産者により栽培方法が様々であり、高品質・安定生産に向けて、現場では生産者間での統一した栽培管理が求められています。

そこで、本研修会では、調査研究として取り組んだジベレリン処理方法や摘粒方法の違いによる結果を踏まえ「BK シードレス」の栽培管理のポイントを説明しました。その後、組合長から、産地全体の底上げや産地の認知度向上を目的とした「BK シードレス」のブランド化について提案をされ、当課から派遣したプランナーにマーケティングやブランド化についての説明をしていただき知識を深めました。それを受けて、「BK シードレス」のブランド化に関する意見交換を行いました。

意見交換の結果、将来的な「BK シードレス」のブランド化を見据え、まずは組合全体で高品質生産に向けた取組を行うことに決まりました。

当課では、今後も現地研修により技術研鑽の場を設け、高品質な「BK シードレス」が生産されるよう支援を行うとともに、愛東ぶどう生産出荷組合の産地ブランドづくりに向けた支援を行っていきます。



「BK シードレス」栽培管理の説明